

線引き箇所とその理由

岩手県立水沢工業高等学校

電気科 田頭 将敬

1 実例(抜粋)

- ①シーリングライト(LED シーリング含む)の掃除、常夜灯電球の交換、電球の交換
- ②エアコンの掃除 ③台所の換気扇の掃除 ④除湿器の掃除 ⑤センサーライトの点検
- ⑥リモコンの点検 ⑦扇風機の修理 ⑧断線ケーブルの修理 ⑨芝刈り機の修理
- ⑩壁かけ時計の修理 ⑪仏壇用盆提灯の修理 ⑫直接配線の照明器具の掃除
- ⑬コンセントの取り付け、配線 ⑭埋め込みコンセントの掃除

2 線引き箇所とその理由

←自分たちでできる								自分たちではできない→						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑧	⑦	⑩	⑪	⑬	⑫	⑭	⑨	

線引き箇所の理由

点検・掃除に関しては生徒で行っても問題はない。

点検については仕組みの理解度によってどこまで点検できるかはばらつくが、テスタを使い、導通試験等は生徒のみでできる。その結果、「どの部品が悪い」というところまでたどり着けば最良の結果といえるが、「点検しても原因がわかりませんでした」というのは高校生とすればあり得る手段といえる。

⑨の芝刈り機については仕組みもさることながら、誤って怪我をする恐れがあるため生徒のみで取り組んではいけない部分だと感じる。⑫については、天井から取り付けてある照明器具の清掃だが、ほとんどの生徒はシーリング取り付けの照明器具は可能である。しかし天井内部から直接照明器具へ配線されている部分について、第2種電気工事士取得者は、仕組み理解しているが、時間がかかるうえ家庭の状況によるので、ケースバイケースである。⑦、⑩、⑪の修理についても、破損の程度によって状況が異なるため、解決できる場合と解決できない場合があるので、ケースバイケースである。⑬、⑭については第2種電気工事士免許取得できている生徒は取り組んでもいいことではあるが、何かあった時の補償の面を考えると、教員立会いの下で取り組むべきなのかと感じる。